



大 議 発 第 4 0 号
令和 8 年 8 月 2 8 日

大江町長 松 田 清 隆 殿

大江町議会議長 宇津江 雅 人



一般質問について（通知）

来る 9 月 2 日からの令和 8 年第 3 回大江町議会定例会において、下記のとおり質問がある
予定ですので、あらかじめ通知いたします。

記

質問者	質問事項	質問の要旨
土 田 勵 一 【一問一答質問】	西地区に賑わいを	西地区に賑わいを、について町長に伺います。 平成 7 年上田町政で、大江町西地区の開発振興による大江町の活性化を図ることで「柳川温泉」が誕生しました。当時の山里に湧いた温泉掘削は紙面にも大きく掲載され大江町の新たな観光地として注目されました。 東日本大震災によって源泉管が折れ曲がり温泉が出ない事故が発生しましたがけれども、復旧し現在に至っております。 現在「柳川温泉」利用者の評価は、泉質は何処よりも良い。山里の緑の中での入浴は最高。アトピーなどに効果がある。県外の方は仙台市の方が多いと御聞きしております。また元七軒地区に住んでいた方と在住者のファンが多い。 西地区にとって「柳川温泉」は無くってはならない重要な拠点として、西地区に賑わいを少しでも復活させるため、町長に伺います。 柳川温泉と、その関連施設について、人口減少は西地区に限ったことではなく町全体の大きな課題であり避けて通ることは出来ません。 大切な地域の施設を最大限活かす方法を町長はどのように考えているのでしょうか。

質問者	質問事項	質問の要旨
		他に西地区には「古寺案内センター」「やまさあーべ」「朝日連峰」と自然豊かな素晴らしい原風景がありますけれども運営は、そう簡単では有りませんし施設の運営改善と観光客や登山客数に頼るしかありません。 したがって、更にPRの間口を拡大しレベルアップを図り観光客や登山客数を増やし当施設の利用者がリピーターとなりますよう気持ちが伝わる御もてなし（接待）が不可欠であります。これまでも頑張ってもらっておりますけれども「古寺案内センター」「やまさあーべ」の施設についても同様に西地区に賑わいを少しでも取り戻すための施策についてどのように考えているのでしょうか。 以上、町長に伺います。
大 沼 清 人 【一問一答質問】	義務教育一貫校設立に向けたプロセスと課題	1. 教育ビジョンおよびカリキュラム等「ソフト」決定の優先性について 義務教育一貫校は、来年度に基本計画策定が予定されている。最初に決定すべきは、一貫校の特色である「9年間のカリキュラム編成」や「年次の垣根を越えた教育体制」ではないか。ハード（建物）整備の議論が先行しがちになる懸念もある中、本来の目的であるソフト面（9年間のカリキュラム等の教育内容）の充実と、どのように歩調を合わせ、優先順位をつけて進めていくお考えか。 2. 人口激減シナリオを見据えた中長期的な学校規模と広域連携 本町の新生児の出生数推測から、令和15年度入学者は20名程度である。デュアルスクール等での町外からの児童を受け入れない限り、近い将来九年生合計で200人を切る在校生数になると予想される。この減少推測は、本プロジェクトの施設規模や計画にどのような影響を与えると考えるか。 又今後の人口動態の推移を直視した場合、施設の耐用年数のみならず、実際の『利用想定期

質問者	質問事項	質問の要旨
		間』を 30～40 年程度と現実的に見立てておく必要があると考えるが、教育委員会の見解を伺う。また将来の本町の人口動態等を見据え、近隣自治体との「教育の広域連携」を今から見通した計画とすべきではないか。 3. 施設整備の選択肢と町民への情報公開・合意形成 国はインフラ整備において、まずは「既存校舎の長寿命化を検討すべき」との明確なスタンスをとっている。一貫校の施設整備にあたり、以下の 3 つの選択肢を町民に提示すべきではないか。 A, 2 つの校舎での「施設分離型」運営 B, 1 つの校舎での「既存校舎リノベーション型」運営 C, 完全校舎新設 これら 3 案のメリット・デメリット、および概算費用を詳らかに公開した上で、町民の十分な理解と合意形成を図るプロセスが不可欠と考えるが、どのような手順を想定しているか。以上を伺う
	多額な教育投資への準備について	上記 3 パターンいずれかに決定したとしても、最大本町の一般会計相当の巨額の予算規模になると予想される。建設時の資材価格や工事費、人件費など不確定な要素があるにせよ、本町の財政史においても類を見ない規模の町債発行を伴う、町の将来を左右するプロジェクトになると推察される。様々なご意見がある中で決定していくためには、財務面での周到な準備と行動が不可欠である。ついては以下の点を問う。 1, 予想される財務状況（既存町債の償還スケジュール・今後の金利上昇を想定した公債費推移のシミュレーション・経常収支比率、財政力指数からみてどの程度の町債の上乗せ発行が

質問者	質問事項	質問の要旨
		限界か等) の情報開示を早い段階で議会・町民に対し必要だが、その開示時期はいつか 2, 巨額の開校費用 (ハード・ソフト・備品等) の平準化を図るため、来年度からの『義務教育学校準備基金』の創設など、計画的な財源確保に着手すべきと考えるが見解を伺う。 3, 開校後の重い維持管理コストや町債元利払いコストに対応するため、将来世代への負担を和らげるためにも、今から自主財源比率の拡大など町の財政体質の強化・改善策に踏み出すべきと考えるが、町長のご所見を伺う。 以上
藤 野 広 美 【一問一答質問】	JR イベント列車で さくらんぼもぎと り企画を	今年の6月13、14の(土・日)と20、21の(土・日)に、JRイベント列車「ひなび」が山形駅から左沢駅まで運行されました。 私は、観光ボランティアガイドの会の一員として14日と20日に、歓迎の手伝いをさせていただきました。到着時は「ようこそ大江町へ」出発時は「ありがとうございました、また来てくださいねー」の言葉と、横断幕を掲げてのおもてなしを行いました。6月20日は町長も法被姿で一緒であったと記憶しております。 「ひなび」は2両編成で50人位の方が乗車していると聞きしております。 左沢駅到着12時03分、左沢駅出発14時02分、約2時間の滞在となっておりますが、今年も埼玉県や栃木県から新幹線始発に乗って山形に入り、「ひなび」に乗ってきたというお客様と話をすることができたのも、良い思い出となっております。 列車到着後レンタル自転車や、タクシーで道の駅おおえに行かれる方、町内の飲食店で食事やお茶タイムの方、町内散策(日本一公園まで登る)方などがいらっしゃいました。お客様の中には「今は、さくらんぼの季節ですね。もぎ取り体験できるところはないのでしょうか」「シャトルバスとかはないのですか」という質問をされた方もいました。その時に、たわなに実ったさくらんぼのもぎとり体験ができれば、良い思い出になるだろうと感じたのです。

質問者	質問事項	質問の要旨
		このことに関連して、7月2日の新聞に東根市で「サクランボ収穫の喜び」というタイトルで、ふるさと納税の返礼品として紅秀峰の収穫をしたという記事が掲載されておりました。 今述べた内容を踏まえて次の質問と提案をさせていただきます。 ① JRイベント列車運行時、4回のうち1回でも良いのでさくらんぼもぎとり企画はできないものか。 企画をするとしたら、道の駅に行く方やさくらんぼもぎとりに参加する方のために、シャトルバスで会場までの送迎を検討してはどうか。 ② ふるさと納税返礼品にさくらんぼもぎとりの商品はあるのか。もし無いとしたら新商品として日時を限定し、さくらんぼもぎとりの商品を提案させていただきます。 J Aさんやさくらんぼ農家さんと提携を結ぶ必要はあると思いますが、この件について協議をしたことはあるのか伺います。 上記①と②の企画を親切なおもてなしにより実践できたら、交流人口の増加につながることは勿論のこと、満足してお客様にお帰りいただくことができると考えますが、町長はどのように考えるかお伺いします。
	学校施設の避難訓練での対応は	6月19日、東京北区滝野川第三小学校で火災が発生し出火直後、火災報知器のベルを聞いた40代の男性教員が音楽室に駆けつけ、火と煙がでていた準備室の奥に向かって消火器を噴射したと報道されています。 その後、児童たちが避難を始める際には防火扉がすでに閉まり、廊下には煙が充満していて男性教員は、音楽の授業をしていた女性教員と協力し、児童を1人ずつ抱えてひさしに避難させたということが報道されました。 この火災記事を読んで感じたことがありますので、次の質問と提案をさせていただきます。 ① 大江町の学校施設 特に2・3階の防火扉と

質問者	質問事項	質問の要旨
		防火シャッターは、火災による熱または煙の発生で感知器が感知したら、どのくらいの時間を経て閉鎖するのかを把握しているのか。 ② 先生や生徒・児童は、避難の際の避難経路と防火扉と防火シャッターの位置並びに、火災が発生した時に防火扉がどのように閉まり、付属するくぐり戸から避難することができることを知っているのか。 年1回、専門業者が防火扉と防火シャッターがきちんと閉まるかの調査をして、防火設備定期検査で報告をすることが義務化されております。 その時に、先生や生徒・児童が実際に作動するところを見学することも良いのではと考えますので、提案をさせていただきます。 ③ 学校施設での消防計画書に基づく避難計画と避難訓練はどのように行っているのか。 以上3点について、教育長にお伺いします。
関野 幸一 【一問一答質問】	町内の避難所・避難場所の現状等について	避難場所・避難所についてはどのような基準で定めているのか。 町内にも、学校などを主に避難場所があります。町内にある避難場所・避難施設の数はどれくらいありますか。 また、避難をしなければならない町民のため、ふれあい会館をはじめ、地区の公民館などがありますが、町民が安心・安全で避難できるための基準をどのように考えているか伺います。
	避難所の冷房等施設及び支援物資について	避難施設・避難場所において冷暖房設備は整えているのか。また、避難してきた方に対しての様々な支援・援助物資などは十分にあるのか。 避難をしてきた方の健康面に配慮して施設内の冷暖房施設は十分なのか。 また、避難してきた方に対しての装備や支援物資も十分に確保しているか。 さらに、避難をしてきた方のプライバシー保護のための対策についても伺います。
	避難所のインフラ整備について	避難施設・避難場所において、停電時や水道が供給できなくなった時の対策はできている

質問者	質問事項	質問の要旨
		のか。 大きな災害になれば、生活に必要なインフラが使えなくなるのは、これまでの全国の災害時の報道などからわかっていることであります。本町のふれあい会館・中央公民館・体育センターにおいては、停電時のバックアップ電源の確保はできるのか。また、断水時の飲料水の確保は大丈夫なのか伺います。
	花火大会の今後の運営は	現在、花火大会の開催費用のほぼ半分は、町内外の方からの寄付でまかなわれていると考えます。コロナ感染症後、これまでのように寄付金を集めるのが大変になり、現在は企業の業績も思うように伸びていなく実際には、寄付金も少しずつ減ってきていると考えます。 今後、寄付金が減ってくれば大会自体の規模を縮小するか、町からの負担金を増やすかを考えていかなければ、これまでのように、伝統ある花火大会の開催は厳しくなると思うが町長の考えを伺いたい。
	職員への指導および予算の使途について	花火大会の実行委員会で、町長は賑やかな花火大会にしたいと挨拶の中で言いましたが、町長の思いが職員には伝わっていないと感じるが、職員にはどのように指示・指導をしているのか。 また花火大会だけでなく、町内のイベント全般にいえることですが、金がない・予算がないと毎回職員が言っているが、町長は金を使うところを間違えていないか。
菊 地 邦 弘 【一問一答質問】	今後の農業振興は（地域計画の課題は）	地域計画の重要性を考えるなかで、高齢化に伴う耕作放棄地（遊休農地）の対策や新規就農者の確保、地産地消の推進やブランド化、スマート農業の導入支援、有害鳥獣被害対策、農地の大区画（基盤整備）、法人化への支援、農地の集積・経営効率など農業経営を継続し10年先の持続可能な営農を目指すためにも町長の考えを伺う。
	防災への備えは	10年前、大地震に見舞われた熊本県に再び震度7の揺れが襲った。家屋の倒壊、生活の命綱である水道が寸断され、気象庁は「今回と同じような揺れは、日本のどこでも起きる可能性がある」と警鐘を鳴らす。

質問者	質問事項	質問の要旨
		本県では4つの断層体が確認されており、大規模地震と大雨、猛暑が重なり「複合災害」となる可能性があり備えの重要性を指摘する。 また気象災害も一層深刻化し記録的な被害、台風15号の進路も想定外。住宅の耐震改修支援の強化、生活水の確保、揺れを感知し作動する感震ブレーカー遮断装置の支援、ハザードマップ等、日常と災害は背中合わせなので、町の防災への備えはどうか町長に伺う。
	町民アンケート調査結果の施策への反映は	町内在住の18歳以上を対象としたアンケート調査を毎年実施しているが、その結果を受けて、これまで町で取り組んできたことや、今後の町の発展のための施策や考えを伺う。
安 食 幸 治 【一問一答質問】	歩道の除排雪を	先の5月臨時議会での、小型除雪ロータリー車の財産の取得、誠におめでとうございます。建設水道課長の親切丁寧な説明では、ロータリー幅1,3m級で、価格が4125万円で冬季は除雪、その他の期間はアタッチメントを切り替えて、道等の草刈り機としてまさに、大谷翔平選手のように大江町民の日々の生活のため、大活躍をしてくれることを期待しております。 大江町の除雪計画では、除雪オペレーターの退職年齢の格上げ、積雪自動通報装置を町内に3ヶ所の継続設置。積雪深自動モニタリングシステム導入。GPS除雪管理システムの試験的に導入するなど、大江町民の降雪期における生活を守っていただいていることに、心より感謝申し上げます。 令和7年度の大江町除雪計画の中では、除雪計画路線の歩道除雪16,8キロ(内、県道との交換路線1,9キロ)との説明が記載されています。 また、除雪作業方針の説明中の歩道除雪では、通勤、通学時間帯に配慮した早朝除雪を実施との記載がされております。また、先に議員が歩道除雪についての一般質問を町長におこなっておりますことは承知しております。 今、町内には、2つの小学校と1つの中学校があります。 小中学校の通学路については、基本的に登校時は決まった路線になっております。冬の降雪期は、通学時間帯の7時半位まで通学路に接す

質問者	質問事項	質問の要旨
		る歩道の町民の方々が、児童生徒のために早朝より通学路を優先的に除雪をおこなっております。しかし、近年、住民の方々の高齢化、空き家の増加などで歩道除雪が、大変困難になっております。例え、消雪道路であっても歩道の積もった雪を完全に溶かすことができず、それでは側溝にとっても水が流れておらず、学校の登校時間まで歩道除雪をおこなうために、仕方なく道路等へ投げることはできないのであります。これは町道、県道、国道の全てにおいて通学路含め町内の歩道に当てはまることだと思います。そこで、降雪期における町内歩道除排雪を通学路、消雪道路に対して、町長の考えを伺います。
	斎藤茂吉の歌碑に台座を	先の6月定例議会で私の一般質問冒頭あいさつの中でも、紹介したように、2028年（令和10年）4月より公共放送で、連続テレビ小説の山形県出身で、我が大江町にも大変ゆかりのある、斎藤茂吉夫妻を題材にした題名「ほんのモキチ」の放送が決定いたしましたことは、山形県民、大江町民ともに大変うれしく思う次第でございます。斎藤茂吉は大江町に（明治28、30年と昭和4年）3度来町しておられ、左沢町内にて4つの歌を詠んでおられます。 その町内で詠んだ歌の歌碑が、最上川河畔に3ヶ所と左沢原町十字路に1ヶ所、左沢元屋敷JR左沢線沿線下に1ヶ所の合計5つ建立されております。私は以前、観光ボランティアさんの案内のもと、左沢町内の観光施設、名所旧跡巡りをさせていただきました。その時に最上川河畔を歩いて説明をしていただいたわけですが、最上川河畔に建立されている歌碑、3つのうち2つの歌碑には台座がなく、さも見るから地面に置いてあるように鎮座しておりました。折しも百目木地区の堤防工事も始まり、大江町の未来に残るすばらしい堤防が今後完成します。百目木地区の再開発に合わせ、最上川河畔の斎藤茂吉歌碑2つに台座設置を。 というのが私の提案であります。町長の考えを伺います。